

ウィンドウズを超えたスゴいやつ

# Mac OS X 10.2

は未来のネットワークOSだ!



アップルから待望の新OS「Mac OS X v10.2」が登場した。コンピュータ業界では、小数点以下のバージョン変更は「マイナーバージョンアップ」とされているが、OS X v10.2はメジャーバージョンアップに匹敵するほどパワーアップしている。シャーロック3のような便利なアプリケーションが多数追加されて、使い勝手がさらによくなっている。ウィンドウズユーザーがうらやむような機能を一挙披露しよう

text: 編集部 photo: Tsushima Takao



## PowerPC G4 搭載マシンなら旧機種でも効果アリ! Quartz Extreme で体感速度が大幅アップ

Mac OS X v10.2(以下v10.2)をインストールして、まず「変わった」と感じるのが画面の描写スピードだろう。特に、ウィンドウの描写や画面のスクロールに、3Dグラフィックカードの演算能力を利用する「Quartz Extreme」(クォーツ・エクストリーム)に対応している機種では、大幅に画面の書き換えが速くなったことを実感できる。嬉しいことに、初代PowerBook G4のようなQuartz Extremeに対応していない機種でも、描写スピードが上がっている。これまでMac OS Xは「キレイだけ遅い」と思われていたが、v10.2では「キレイで速い」OSになった。

Quartz Extremeほど大きなインパクトはないが、Finderに細かい改良が加えられている。まず、液晶モニターでサイトを見るときに、文字がボケて読みづらくなるこ

とがあったが、文字のアンチエイリアスのかかり具合を調節できるようになった。

さらに、ファイルをフォルダーの上に数秒重ねると、フォルダーが自動的に開く「フォルダナビゲーション」が追加された。実は、フォルダナビゲーションはMac OS9.1で実現していた機能で、「復活した」と言った方が正しいだろう。GUIでファイルをコピーする場合、先にコピー先のフォルダーを開いてから、ファイルをドラッグする操作が普通だ。フォルダナビゲーションはファイルをコピーなどで便利な機能だ。ちなみに、ウィンドウズXPにこの機能はない。

残念な点は、Mac OS 9.1にあった「ラベル」が復活していないことだ。ファイルを「進行中」「重要」のように色分けできる便利な機能だけに、次のバージョンではぜひ、復活させてほしい。

Mac OS X 10.2の新機能

スケジュール機能が強化

ウィンドウズネットワークが使いやすく

辞書や電話帳を不要にするシャーロック3

Mac OS X v10.2

動作機種: Power Mac G3、Power Mac G4、iMac、eMac、PowerBook G3、PowerBook G4、iBook(初代PowerBook G3とCPUを交換した機種は動作保証外)

メモリー: 128Mバイト以上

価格: 1万4,800円

 [www.apple.co.jp](http://www.apple.co.jp)





## ウェブ、PDA、iPod、どれも予定を確認できる! .MacとiCalで万全のスケジュール管理

「iCal」は、v10.2でしか使えないスケジュール管理ソフトで、スケジュールを「プライベート」「仕事」「共有」のように色分けして管理できる。ソフトはオーソドックスな作りで、スケジュールの表示を「1日」「週間」「月間」表示に切り替えられるほか、ウィンドウ右側に作業を箇条書きで表示する「ToDo」が表示される。デザインに特徴があり、iTunesなどと同様にウィンドウの枠がアルミ調になっている。

これだけでは、PDAとスケジュールの同期ができる「Palmデスクトップ」や、メールとスケジュールソフトの機能を持つOutlookに機能面で負けてしまうが、「.Mac」と組み合わせると、iCalにしかない「スケジュールの公開」が使えるようになる。

これは、iCalに入力した予定をウェブサイト公開する機能で、指定したスケジュールの項目だけを公開できる。HTMLへの変換やサイトへのアップロードは自動的に行われるため、自分でHTMLを編集したり、FTPを使ったりする必要はない。

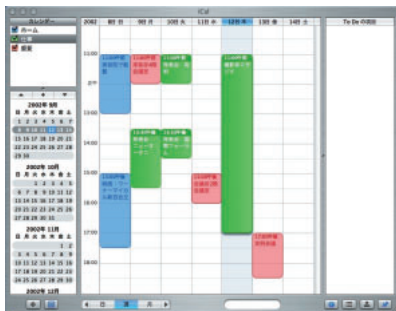
### 作業はメニューから選ぶだけ

手順はいたって簡単で、メニューの「カレンダー」から「公開」を選ぶだけだ。公開したスケジュールのURLを知人や同僚に教えたいときは、メニューの「カレンダー」から「公開メールの送信」を選択する。すると、自動的にメールの本文とタイトルが入ったメールが作成されるので、あとはメールアドレスを入力して送信するだけだ。

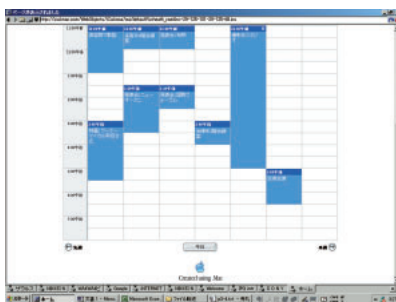
近日中に発表される予定の同期ソフト「iSync」を使えば、iCalと、PalmOSを搭載したPDA、iPod、ソニーエリクソンの携帯電話の「T68i（日本未発売）」でスケジュールを共有できるようになる。

iCalは「.Mac」に加入していなくても動作するが、メリットを十分に活かすためには、「.Mac」が必須だろう。

iCalとiSyncを使って、マック・PDA・インターネットでスケジュールをシンクロ



「ホーム」「仕事」「重要」のように、スケジュールをジャンル分けして管理できる。

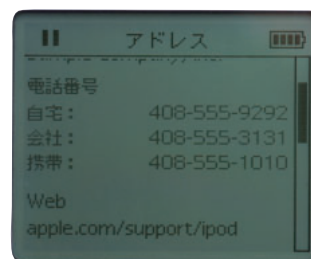


スケジュールを公開したウェブサイトのURLを、自動的にメールで告知できる。iCalのスケジュールを変更したときは、「書き換え」を実行すると、ウェブサイトのスケジュールも書き代わる。

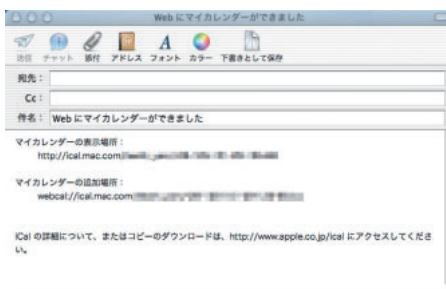
新しいiPodは、音楽再生機能のほかに、アドレス帳とカレンダー機能を搭載している。iSyncを使えば、iPod上のアドレス帳とカレンダーをiCalと同期させられるようになる。



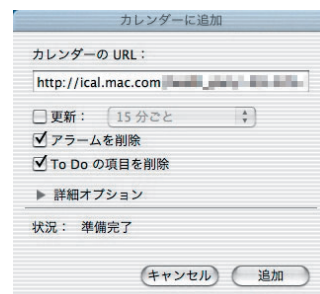
iPod  
ハードディスク：10GB  
価格：4万7,800円  
[www.apple.co.jp](http://www.apple.co.jp)



### 公開先のURLは自動で入力



スケジュールの公開先のURLが入ったメールが自動的に作成される。あとは、宛先にメールアドレスを入力して送るだけだ。公開先のURLは、10桁以上の数字を組み合わせたもので、URLを知らない人はまずアクセスできないだろう。スケジュールを頻繁に変更するなら、「情報を見る」から「変更の度に自動で更新」をチェックしよう。



人が公開したスケジュールを、自分のiCalに取り込むことも可能だ。「カレンダー」から「追加」を選んで、「カレンダーのURL」に教えてもらったURLを入力する。「追加」ボタンを押すとスケジュールの取り込みが自動で行われる。



## アクティブディレクトリーにも対応! ウィンドズより簡単な「ウィンドズファイル共有」

v10.2から実用的なウィンドズネットワーク接続機能と、PPTPによる暗号化通信、ウィンドズファイル共有の3機能が追加され、ウィンドズとの接続が大幅に改善された。

まず、ウィンドズネットワーク接続機能だが、v10.2以前のMac OS Xにもウィンドズネットワークに接続する機能はあった。しかし、接続先のPCのIPアドレスを数字で指定する必要があり、お世辞にも使いやすいとは言えなかった。

v10.2では、Finderの「サーバーへ接続」を選ぶだけで、接続しているネットワークの「ワークグループ」が表示される。もちろん、PCのコンピュータ名が表示されるので簡単に接続できる。このとき、AppleTalkのネットワークも同時に表示されてしまうので、ウィンドズネットワークと区別が付きにくい。アイコンを別にして、どちらのネットワークかわかりやすくしてほしいところだ。

### PPTP接続にも標準で対応

さらに、ウィンドズ標準のVPN接続である「PPTP」クライアント機能が追加された。企業でPPTPサーバーを設置していることが多く、仕事でマッキントッシュを使うときに便利な機能だ。ただ、複数のPPTP接続の設定は保存できないところが不便。次のバージョンでは改善してほしい。

v10.2で追加された「Windows ファイル共有」は、チェックボックスを入れるだけで、すぐにファイル共有が始まる。あとは、ウィンドズからアクセスさせたいユーザー名を新規で登録するだけだ。初期設定では、ワークグループが「WORKGROUP」に設定されているが、「ユーティリティ」にある「ディレクトリアクセス」を使えば変更できる。

ウィンドズのパソコンに、1クリックで接続

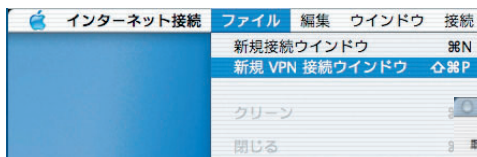


Finderの「移動」から「サーバーへ接続」を選ぶだけで、ネットワーク上のウィンドズとマッキントッシュを自動的にリストアップする。あとは、ワークグループから目的のコンピュータを選択するだけで、ドメインネットワークにも参加できる。

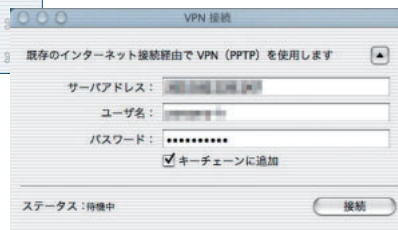


ウィンドズのパソコンに接続するときは、ウィンドズドメインやワークグループ、ユーザー名、パスワードを入力する。「Add to Keychain」にチェックを入れると、次回からパスワードを入力する必要がなくなる。

PPTPで会社のサーバーにも接続できるようになった!

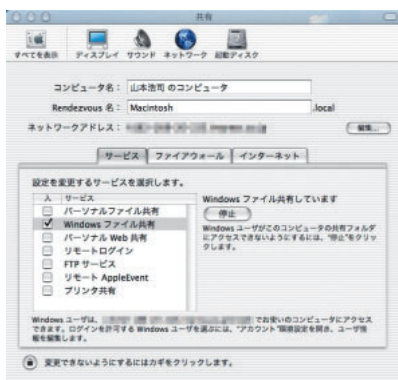


ウィンドズ標準のVPN接続の「PPTP」に対応した。「アプリケーション」から「インターネット接続」を起動して、「ファイル」から「新規VPN接続」を選ぶ。頻繁にPPTP接続を使うなら、Dockに「インターネット接続」を登録しておくとうまい。AirMacをインストールしている場合は、画面右上の「AirMac」ステータスからも、「インターネット接続」を起動できる。

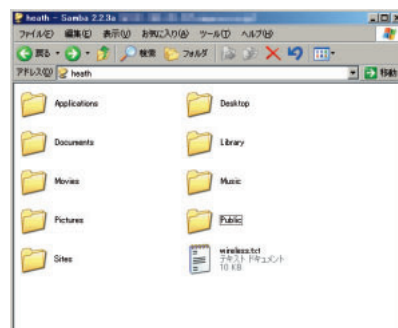


PPTPサーバーのIPアドレスと、ユーザー名、パスワードを入力する。保存できる接続設定は1か所だけなので、複数のPPTP接続を使うときは、サーバーアドレスを控えておこう。

「ウィンドズファイル共有」で、簡易ファイルサーバーになる



操作は非常に簡単で、「システム環境設定」の「共有」を開き、「Windows ファイル共有」をチェックするだけだ。



ウィンドズから見たマッキントッシュのハードディスク。拡張子を付けていないファイルは、ウィンドズでは白紙アイコンになってしまふ。「Home」以下のすべてのフォルダが見えているが、アクセス権がないユーザーは開けない。

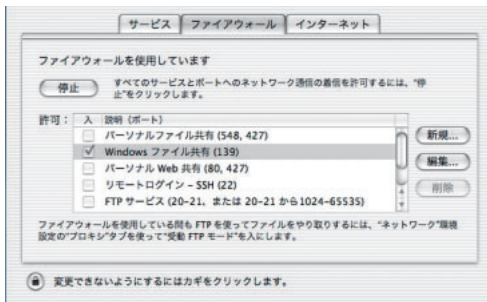


## 有名ソフトのポートは設定済み ファイアウォールで常時接続も安心

常時接続やモバイル環境に対応して、外部からの通信を遮断する「ファイアウォール」が標準で搭載された。設定は簡単で、「システム環境設定」の「共有」から、「ファイアウォール」タブにある「開始」ボタンを押すだけだ。便利なのは、ファイル共有機能と連携していることで、共有サービスを開始すると、対応するポートを通過するように自動的に設定される。たとえば「パーソナルWeb共有」をオンにすると、自動的に80番と427番のポートが許可される。

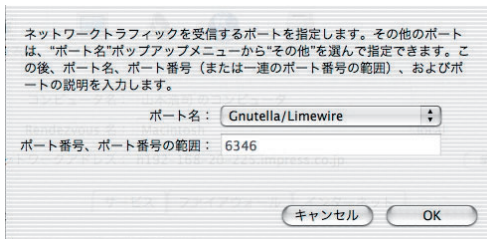
ファイアウォールを設定すると、チャットソフトなどが利用できなくなるが、「AOL IM」や「Gnutella」など著名なアプリケーション向けの設定が用意されているので、TCP/IPの設定に詳しくなくても、ファイアウォールを通過する設定ができるだろう。

「開始」を押すだけのファイアウォール



ファイアウォールの設定も簡単で、「システム環境設定」から「共有」を選び、「ファイアウォール」の画面で「開始」を押すだけだ。ファイアウォールを使っている状態でファイル共有を開始すると、自動的に関連するポートの通信が許可される。なお、ファイル共有中は、関連するポートの「許可」のチェックを外さないようになっているので、誤って通信を遮断してしまう心配がない。ファイル共有を中止すると、関連するポートのチェックが自動で外れる。

有名ソフトは設定済み



ファイアウォールを通過させるポートを追加するときは、「新規」ボタンを押す。あらかじめ登録されているアプリケーションは、「AOL IM」「Apple Remote Desktop」「Gnutella/Limewire」「ICQ」「IRC」「MSN Messenger」「Retrospect」「SMB」「Timbuktu」の9種類。これ以外のポートを通過させたいときは、「その他」を選んでポート番号を入力する。

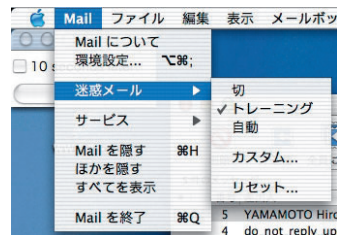
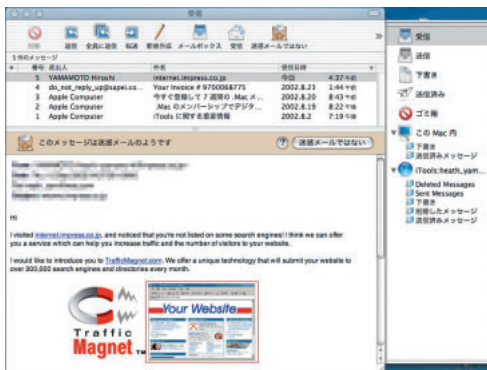


## スパムは「迷惑メール」フォルダーに直行! スパムメールを賢く見分ける「メール」

標準のメールソフト「Mail」も強化されているが、特筆すべき点は「迷惑メール」機能だ。これは、スパムや歓迎しないDMを自動的に「迷惑メール」と判定して削除してくれるものだ。

使い方は、まず「トレーニング」モードから始める。必要なメールが迷惑メールとされたら、「迷惑メールではない」ボタンを押し、逆にスパムが迷惑メールに判定されなければ、手動で迷惑メールに設定する。このようなトレーニングを十分積んで、迷惑メールを誤判定しなくなったら「自動」モードにする。すると、「迷惑メール」というフォルダーが作成される。スパムと判定されたメールは「迷惑メール」フォルダーに送られ、受信トレイに表示されなくなる。

スパムらしいメールは自動で削除



スパムメールのような文章を含むメールは、自動で「迷惑メール」に分類される。オプトインメールのような、許可した広告メールが「迷惑メール」にされたときは、「迷惑メールではない」を押す。

広告っぽいメールはスパムとして処理される

大特売お買い得メールマガジン!  
今なら限定300人にフリーアカウントプレゼント!!

スパム!

斬新なアフィリエイトプログラムのご提案です。当プログラムの特徴は  
クリックスルーあたりの配当の高さです。

このようなメールは「迷惑メール」に分類される。

「迷惑メール」に分類されないメールは、手動で分類しよう。

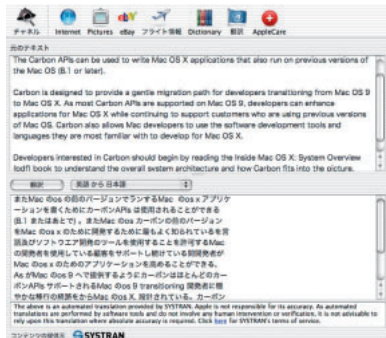




# ポータルサイトを越えた情報検索ツール シャーロック3が翻訳サイトや電話帳を不要にする

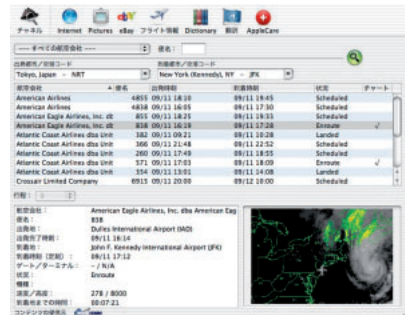
v10.2でぜひ利用したいのが、情報検索ツールの「シャーロック3」だ。ウェブサイトの検索のほか、「eBay」の商品検索、用語辞典、翻訳など、これまでそれぞれのサイトに移動して検索していた情報を、シャーロック3だけで検索できるようになった。このうち、日本語で使えるサービスは「翻訳」と「フライト情報」の2つだ。翻訳は日本語と英語のほか、ドイツ語やフランス語など13か国語に対応している。フライト情報はNRT、JFKといった空港コードを入力するだけで、フライトのタイムテーブルと、便によっては飛行位置を確認できる。

## 翻訳サイトはいらない



日英と英日の翻訳をテストしたが、双方とも精度はいまひとつのようだ。さらに、翻訳結果の文字が化けてしまうことがあり、さらなる改良を期待したい。韓国語やロシア語に翻訳すると、日本語版v10.2でもきちんとハングルやキリル文字で表示される。

## フライト情報から周辺の衛星写真まで



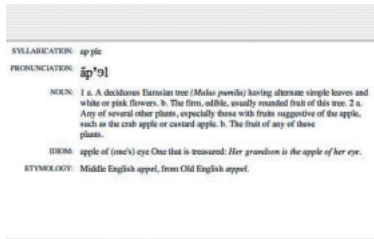
出発空港と到着空港をプルダウンメニューから選択するか、空港コードを直接入力すると、該当する便がリストで表示される。航空会社や便名、出発時間でルートがかけられる。チャートにチェックが入っているときは、飛行機が飛んでいる推定位置や雲の状況まで分かる。リストが日本語化されていない点が残念だ。

## 早く日本語化してほしい魅惑の5機能

シャーロック3のサービスは上記の2つだけではない。「映画館案内」や「住所録」「辞書」など全部で10個のサービスが提供されている。ここでは、中でも魅力的な5つのサービスをピックアップした。残念ながら、これらは英語版しか利用できない。

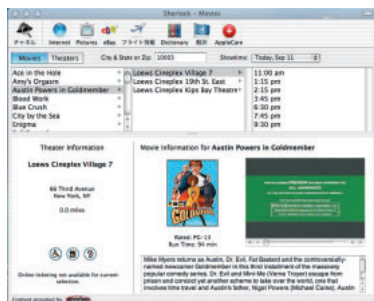
どれも生活や仕事に役立つ情報が満載で、早く日本でも使えるようにしてほしいサービスだ。

### 英英辞典はDictionaryにおまかせ



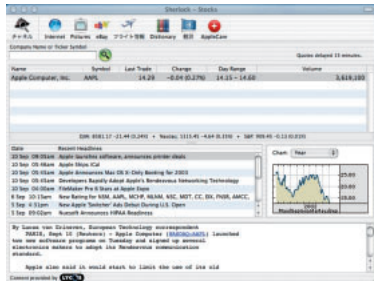
調べた単語の意味や発音記号のほか、類義語と対語を表示する。

### 映画情報誌を超えたMovies



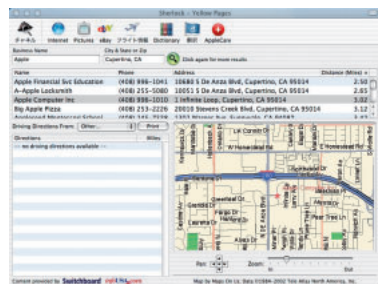
都市名と日付けを指定すると、近くの映画館で上映されている映画のリストとタイムテーブルが表示される。

### Stocksで株価と関連ニュースを一気に表示



企業名かシンボルを入力すると、株価とチャート、関連ニュースが表示される。

### 電話帳も「104」も不要のYellow Pages



会社名と都市名を指定すると、該当する企業の住所や電話番号のほか、周辺地図が表示される。

### マックのトラブルに強い味方、AppleCare



トラブルの概要を入力すると、対処方法をリストアップしてくれる。



## ネットワークの面倒な設定がなくなる! 話題の新機能「ランデブー」をiChatで使う!

「Rendezvous (ランデブー) は、同じネットワーク上で利用できるサービスを自動的に見つける技術だ。Rendezvousに対応したアプリケーションや周辺機器をネットワークに追加すると、自動的にブロードキャストを始めて、お互いにサービス情報を交換する。

Rendezvousをすぐに実感できるアプリケーションと言えば、v10.2で追加された「iChat」が挙げられる。iChatを起動すると、通常のチャットウィンドウのほか、Rendezvousウィンドウが表示され、同じネットワーク上のiChatを表示する。

エプソン、ヒューレットパカード、レックスマークのほか、フィリップス、キヤノン、ゼロックスなどがRendezvous対応を表明している。

iChatはイチ早くRendezvousに対応!



Rendezvousをすぐに体験したいなら、iChatがおすすめだ。同じLANに接続しているiChatを自動的に検出してリストに表示する。もちろん、LAN上の人に勝手に検出されたくない場合は、環境設定でRendezvousをオフにできる。

Rendezvousには、「IPアドレスの割り当て」「IPアドレスとRendezvous上の名前のひもづけ」「サービスの発見」の3つの役割がある。

まず、Rendezvousに対応した機器やサービスは、リンクローカルアドレスという特別なIPアドレスを自分に割り当てる。リンクローカルアドレスは、ゲートウェイの設定がされないため、ルーターを超えることができない。

次に、マルチキャストDNSを使って、IPアドレスとRendezvous上の名前をひもづける。最後に、サービス名とIPアドレス、ポート番号をDNSリソースレコードに記録する。DNSレコードを参照すれば、それぞれの機器のIPアドレスや提供されているサービスがわかる仕組みだ。



## テレビ番組も録画したい! デジタルハブ「Mac OS X」に足りないモノ

アップルCEOのステーブ・ジョブズ氏は、Mac OS Xをデジタル家電の中心になる「デジタルハブ」として位置づけている。Mac OS Xにバンドルされているアプリケーションを見ると、DVD制作ソフトの「iDVD2」、ムービー編集ソフトの「iMovie2」、音楽ジュークボックスの「iTunes3」、デジタルアルバム「iPhoto」と、Mac OS Xを使うことで、映像と音楽を手軽に編集したりストックしたりできるようになっている。

v10.2では、映像や音楽だけにとどまらず、チャットの「iChat」、情報検索ソフトの「シャーロック3」、スケジューラーの「iCal」、データ同期ソフトの「iSync」など、デジタル家電以外の情報もMac OS Xが担うことを狙っているようだ。

唯一、Mac OS Xで置き去りにされているのがテレビ録画機能だろう。テレビ番組をハードディスクに録画、再生、管理する「iTunes」のようなソフトウェアがあれば、テレビとビデオの役割を担えるようになる。録画した番組をDVD-Video形式でDVD-Rに書き出す機能があれば、iMacに搭載された大容量のハードディスクとDVD-Rドライブが活きてくる。Mac OS Xがリビングの主役になるなら、テレビ録画機能も欠かせないのではないだろうか。



iMac (M8812J/A)  
CPU: PowerPC G4 / 800メガヘルツ  
ハードディスク: 80ギガバイト  
ドライブ: CD-RW、DVD-Rコンボドライブ  
問い合わせ: 0070-800-27753-1  
価格: オープン価格(実勢価格25万円)  
 [www.apple.co.jp](http://www.apple.co.jp)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)